

FUJITSU Server PRIMERGY RX2450 M1

SUSE Linux Enterprise Server OS の 手動インストール

SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 以降

- RX2450 M1でSUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 以降をご利用になるためのインストール方法や運用前に必要な操作について説明しています。
- 本書に記載のインストール方法は一例です。
各設定等、詳細につきましてはSUSE社のインストールガイドを参照ください。
<https://documentation.suse.com/ja-jp/sles/15-SP2/>
- サポートするOS名称やカーネル版数に関しては次の弊社インターネット情報ページをご参照ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/primergy-os/>



本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
(→ P. xx)	参照先のページを示しています。クリックすると該当ページへ移動します。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROM ドライブを「CD/DVD ドライブ」と表記しています。

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
  ↑  ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- コマンド実行の操作は、コマンドを入力して【Enter】キーを押してください。

■ CD/DVD が自動的にマウントされない場合

シングルユーザモード、テキストモードを使用する場合、CD/DVD などのメディアは自動的にマウントされません。

CD/DVD が自動的にマウントされない場合は、次のコマンドを実行してください。

```
# mount -r /dev/cdrom /media/<メディアのボリューム名>
```

初回マウント時に次のコマンドを実行して、CD/DVD のマウントポイントを作成してください。

```
# mkdir /media/cdrom
```

■ 保守サービスについて

弊社では、お客様に安心して Linux を使用していただくために、有償サポート・サービスをご用意しております。有償サポート・サービスをご契約いただくと、本書に関するご質問、インストールや運用の際に発生する疑問やトラブルなどについて解決支援させていただいております。有償サポート・サービスをご契約いただくことをお勧めします。

■ RX2450 M1 のドライバ&修正プログラムについて

各種ドライバや BIOS、ファームウェア、添付ソフトウェアなどの最新モジュールを、次の当社インターネット情報ページにて提供しております。システム安定稼動のため、常に最新モジュールを適用して運用されることを推奨します。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

なお、最新モジュールのダウンロード、および適用作業につきましては、お客様自身で実施いただきますようお願いいたします。

弊社にて作業実施をご依頼されるお客様は、有償にて承っております。担当営業員、または販売店までお問い合わせください。

■ 商標

Linux は、Linus Torvalds 氏のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

SUSE および SUSE ロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright 2021 FUJITSU LIMITED

目 次

本書をお読みになる前に.....	2
第 1 章 インストール前の準備	5
1.1 インストールDVDの作成	5
第 2 章 システムのインストール.....	6
2.1 インストールの流れ	6
2.2 デフォルトのインストールの開始	7
2.3 登録なしのインストール	17
改版履歴	19

第 1 章 インストール前の準備

CD/DVD ドライブ（および DVD インストールメディア）を使用して、ローカルシステムに直接接続された HDD へインストールする手順を説明します。インストールを開始する前に、必要なディスクを作成します。

■SUSE アカウントの作成

インストールファイルをダウンロードするには、SUSE アカウントが必要になります。SUSE アカウントをお持ちでない場合は、あらかじめ次の要領で SUSE アカウントを作成してください。（アカウントの作成は無料です。）

- 1 SUSE (<https://www.suse.com/download/sles/>) にアクセスします。
- 2 画面上部の Account → Create Account で表示される登録フォームに従い、必要事項を入力して SUSE アカウントを作成してください。

1.1 インストール DVD の作成

インストールを開始する前に、次の DVD を作成する必要があります。未使用の DVD を 1 枚用意してください。

項目	本書での表記	備考
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 インストール DVD	インストール DVD	SUSE 社から提供される SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 をダウンロードして作成します。

- 1 SUSE (<https://www.suse.com/download/sles/>) にアクセスします。
- 2 SLE-15-SP2-Online-x86_64-GM-Media1.iso をダウンロードします。
- 3 ダウンロードした ISO イメージからインストール DVD を作成します。

作成した DVD には、「インストール DVD」と記載しておきます。

POINT

- インストール方法には次の 2 つがあります。
 - デフォルトのインストール
インストール時に必要なモジュール等をネットワーク経由で登録サーバから取得する方法
⇒「2.2 デフォルトのインストールの開始」(→P. 6) をご覧ください。
 - 登録なしのインストール
登録サーバを使用しない（ネットワークを使わない）方法
⇒「2.3 登録なしのインストール」(→P. 16) をご覧ください。
- 「登録なしのインストール」の場合、インストールメディア（SLE-15-SP2-Full-x86_64-GM-Media1.iso イメージ）が必要になります。このインストールメディアの作成方法は「2.3 登録なしのインストール」(→P. 16) をご覧ください。

第2章 システムのインストール

システムをインストールする方法について説明します。

POINT

- あらかじめ、「第1章インストール前の準備」([→P. 4](#))をご覧ください、必要なディスクを作成してください。

2.1 インストールの流れ

手動インストールは次の流れで行います。



●準備するもの

操作を開始する前に、次のものを準備してください。

- ・インストール DVD

「1.1 インストール DVD の作成」([→P. 4](#))

2.2 デフォルトのインストールの開始

- 1 電源ボタンを押し、DVDドライブを接続してインストールDVDをセットします。

しばらくすると、ブートメニューが表示されます。



「インストール」を選択し、【Enter】キーを押します。

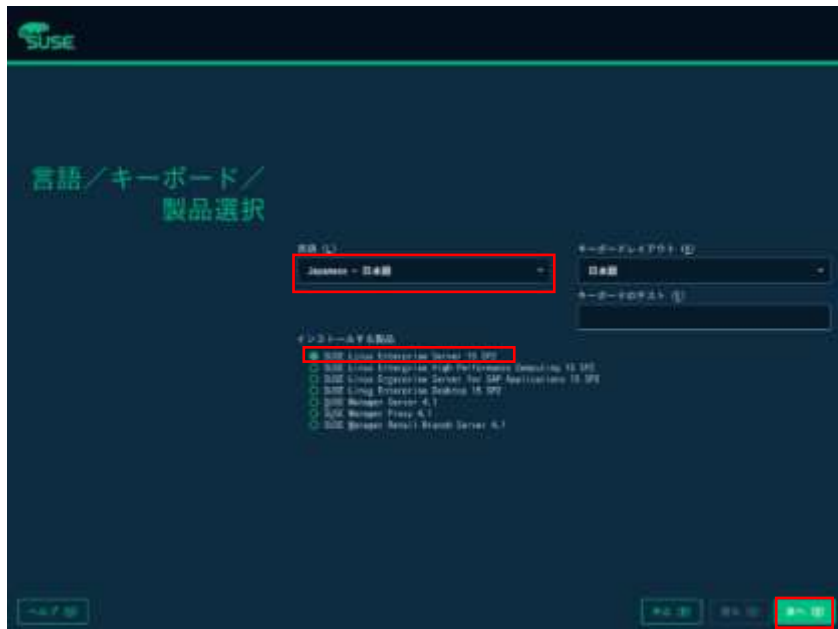
POINT

- キーボードで操作を行います。
項目選択：【←】 【→】 【↑】 【↓】 キーもしくは、タブキー
項目決定：【Enter】 キー

※現時点でインストールに必要なドライバはありません。

2 言語/キーボード/製品を選択する画面が表示されます。

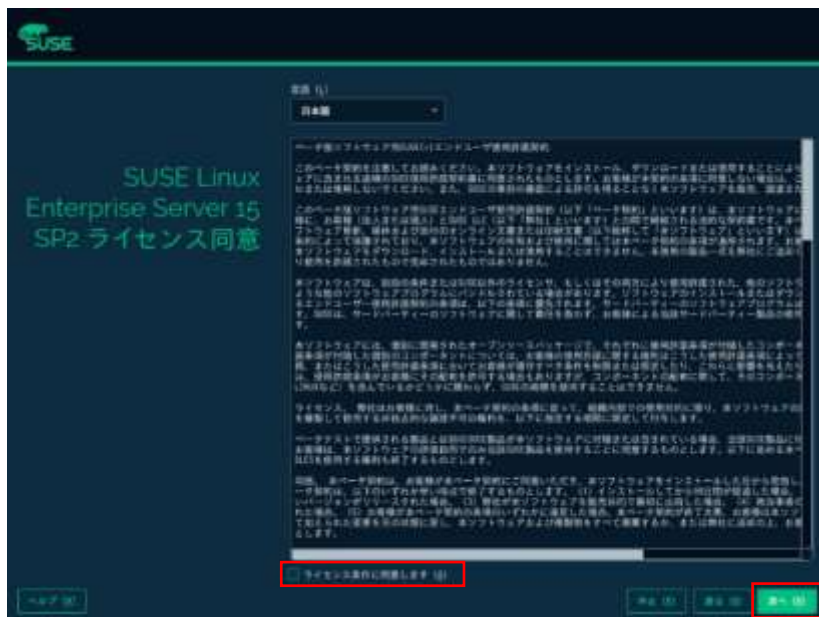
言語「日本語」、インストールする製品「SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



POINT

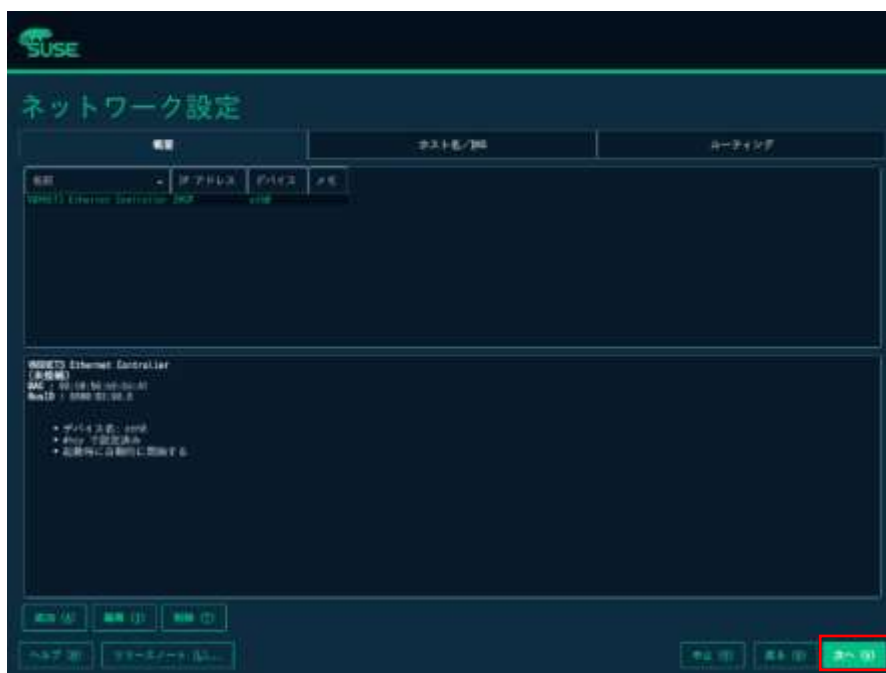
本操作ではキーボードが動作しない場合があります。その場合は、一時的にキーボードを外してマウスを接続し、マウスにより操作します。

3 ライセンス契約内容を確認し、問題がなければ「ライセンス契約に同意します。(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックします。



4 ネットワーク設定を行います。

ご希望のネットワークを設定し、「次へ(N)」をクリックします。



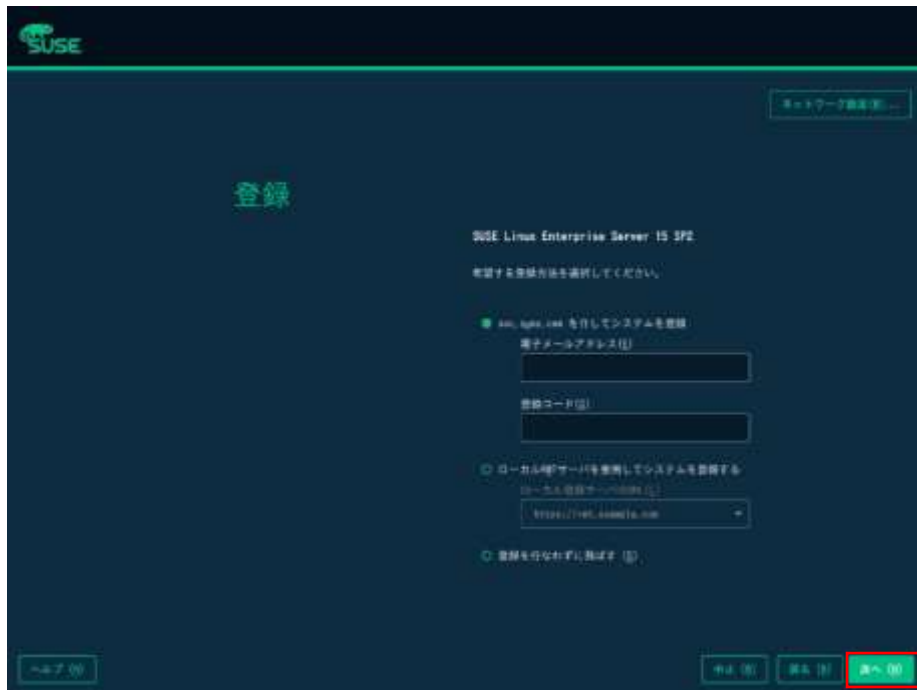
POINT

- インストールを開始する際 DHCP を介してネットワークが自動設定された場合、この画面は表示されません。

5 登録を設定します。

登録の設定画面が表示されます。

ご希望の設定を選択し、「次へ(N)」をクリックします。

The image shows the SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 registration screen. The title is "SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2". Below the title, it says "希望する登録方法を選択してください。" (Select the registration method you want to use). There are three radio button options: 1. "API, SUSE.com を行してシステムを登録" (Register system using API, SUSE.com) with sub-labels "電子メールアドレス(E)" and "登録コード(C)". 2. "ローカル登録サーバを使用してシステムを登録する" (Register system using local registration server) with sub-label "ローカル登録サーバのURL(U)" and a text input field containing "http://192.168.1.100:8080". 3. "登録を行わずに試す" (Try without registration). At the bottom right, there are three buttons: "戻る(B)" (Back), "保存(S)" (Save), and "次へ(N)" (Next), with the "次へ(N)" button highlighted by a red rectangle.

POINT

- テクニカルサポート情報や製品のアップデートを入手するには、SUSE カスタマーセンターまたはローカル登録サーバで製品を登録してアクティブ化する必要があります。この段階で SUSE Linux Enterprise Server を登録すると、アップデートリポジトリへのアクセス権もただちに得られます。これにより、利用できる最新のアップデートとパッチを使用してシステムをインストールできるようになります。

6 拡張機能とモジュールの選択

ご希望の設定を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



POINT

- モジュールとは、ユーザのニーズに合わせて製品を構築できるコンポーネントのことで、無償で提供されています。拡張機能は、製品に特定の機能を追加します。拡張機能はサブスクリプションとして提供されており、有料登録キーを必要とします。
- 製品インストールするモジュールの関係は以下をご参照ください。

Modules and Extensions Quick Start

<https://documentation.suse.com/sles/15-SP2/single-html/SLES-modulesquick/#sec-modules-what-modules>

- [Basesystem Module] のインストールは必須です。

重要

- 次のモジュールや拡張機能製品はSLESに追加購入するモジュールのため、SLESの有料登録キーだけではインストールできません。別途ライセンスキーが必要になります。

ライセンスキーが必要な製品/add_on

- [SUSE Enterprise Storage]
- [SUSE Linux Enterprise High Availability Extension]
- [SUSE Linux Enterprise Live Patching]
- [SUSE Linux Enterprise Workstation Extension]

7 アドオン製品を選択します。

ご希望の設定を選択し、「次へ(N)」をクリックします。



POINT

- SUSE カスタマーセンターで提供されていない他のソフトウェアソース（「リポジトリ」）を SUSE Linux Enterprise Server に追加できます。このようなアドオン製品には、サードパーティの製品や、ご使用のシステム用のドライバまたは追加ソフトウェアなどがあります。
- このステップをスキップする場合は、[次へ] で続行します。スキップしない場合は、[アドオン製品をインストールする] をオンにします。メディアタイプ、ローカルパス、またはリポジトリをホストしているネットワークリソースを指定して、画面の指示に従います。

8 システムの役割

ご希望の設定を選択し、「次へ (N)」をクリックします。



POINT

- どのシステムの役割を使用できるかは、選択したモジュールと拡張機能にかかっています。システムの役割は、パーティションの推奨設定や、インストール用に事前選択されるソフトウェアパターンのセットなどを定義します。選択する際には、画面上の説明を参照してください。

9 パーティションの設定をします。

システムによって推奨されたパーティションの設定を確認します。必要に応じて設定を変更し、「次へ(N)」をクリックします。



10 時計とタイムゾーンの設定をします。

システムで使用する時計とタイムゾーンを選択します。時刻を手動で調整したり、時刻同期用の NTP サーバを設定したりするには、「その他の設定」を選択します。

設定が完了したら、「次へ(N)」をクリックします。



11 ローカルユーザの設定をします。

ローカルユーザの設定画面が表示されます。

新しいユーザを作成する場合、ユーザのフルネーム、ユーザ名、パスワードを設定し「次へ(N)」をクリックします。

(※本設定はスキップ可能ですが、初回ログイン時に本設定が求められます。)

12 root ユーザを設定します。

root ユーザの設定画面が表示されます。

root ユーザのパスワードを入力するか、SSH 公開鍵を提供します。希望する場合は、両方使用することができます。

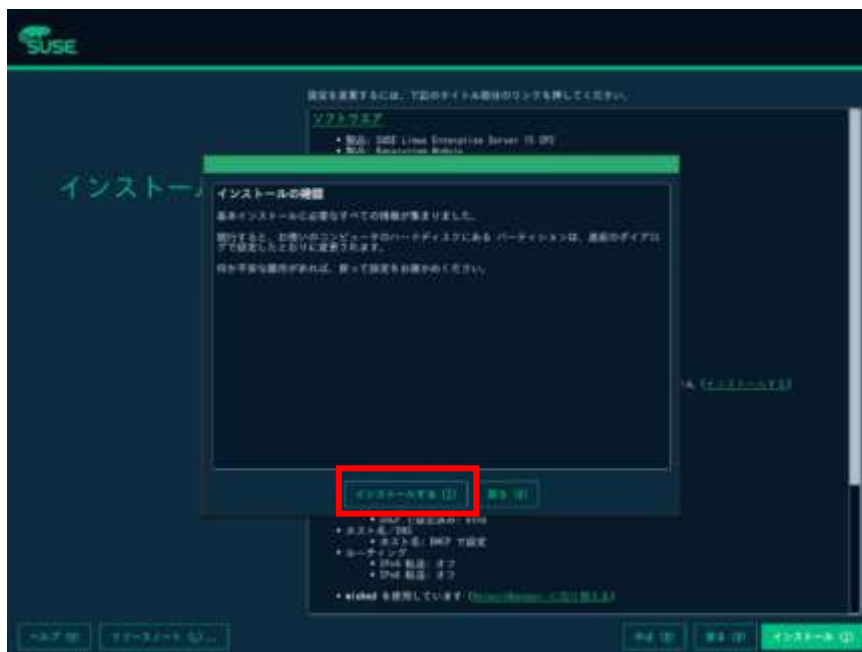
- 13 インストール設定を確認し、「インストール(I)」をクリックします。



POINT

- 必要に応じて設定を変更することができます。
- デフォルトでは SSH サービスは無効化になっています。必要に応じて有効化してください。

- 14 「インストールする(I)」をクリックし、インストールを開始します。



- 15 インストールが完了すると、自動的に再起動します。

2.3 登録なしのインストール

登録サーバに接続せずにインストールを実行すると、インストール中にシステムを登録することはできません。登録なしのインストールには SLE-15-SP2-Full-x86_64-GM-Media1.iso イメージファイルを使用します。

ここでは例として、リムーバブルフラッシュディスクを使用してインストールを行います。

インストールを開始する前に、次のリムーバブルフラッシュディスクを作成します。未使用のリムーバブルフラッシュディスクを1つ用意してください。

- 1 SUSE (<https://www.suse.com/download/sles/>) にアクセスします。
- 2 SLE-15-SP2-Full-x86_64-GM-Media1.iso をダウンロードします。
- 3 次のコマンドを使用し、リムーバブルフラッシュディスクにデータをコピーします。

```
sudo dd if=PATH_TO_IMAGE of=FLASH_STORAGE_PARTITION bs=4M && sync
```

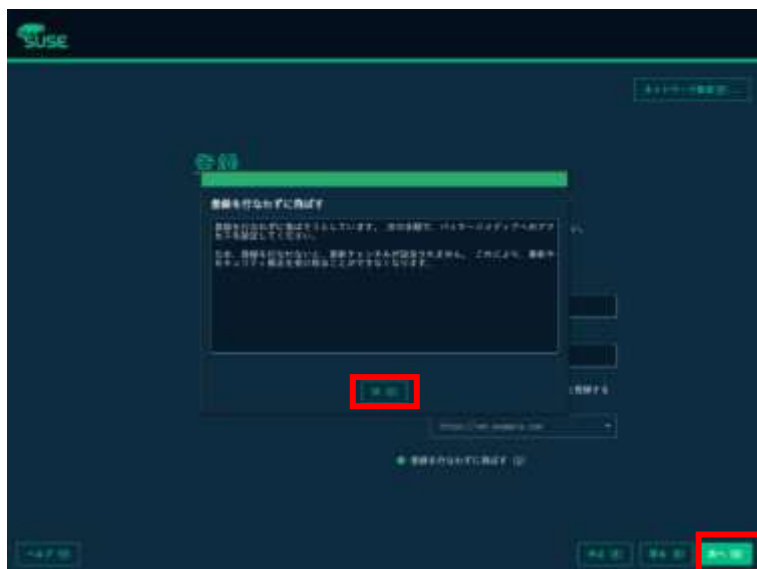
PATH_TO_IMAGE は、このイメージファイルへの相対パスまたは絶対パスで置き換えます。*FLASH_STORAGE_PARTITION* は、フラッシュデバイスのパーティションへのパスで置き換えます。

1 リムーバブルフラッシュディスクを接続して、電源ボタンを押下します。

2 登録を行わずに飛ばす

2.2 項「デフォルトのインストールの開始」の4 項「ネットワーク設定を行います。」までの手順を実行します。

「登録を行わずに飛ばす」を有効にします。「OK (O)」をクリックし、「次へ (N)」で続行します。



重要

- システムと拡張機能は、登録しないとアップデートとサポートの対象になりません。インストール時に登録していない場合は、後で稼働中のシステムから行うことができます。

3 インストールの最終処理

ここからのインストール手順は、デフォルトのインストールの場合と同様です。

2.2 項「デフォルトのインストールの開始」の6 項「拡張機能とモジュールの選択」の手順に進みます。

改版履歴

版数	改版内容
1 版	初版作成

SUSE Linux Enterprise Server OS の手動インストール
SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2 以降

CA92344-4738-01

発 行 日 2021 年 10 月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。